

平成 21 年度

絵本とおはなし大好き講座 実施報告書



主催：おはなしがらがらどん

助成：独立行政法人国立青少年教育振興機構

『子どもゆめ基金』

平成21年度

「絵本とおはなし大好き講座」要項

会場：成田市立図書館2階視聴覚ホール／図書館2階集会室

講座日程と内容

開催日	時間	テーマ	講師	学習目的
5月21日 (木)	10:00～ 12:00	絵本の世界	久松友子氏	読み聞かせに適した絵本の選び方、読み方を学ぶ。
6月4日 (木)	10:15～ 12:00	石井桃子さんの 世界	平塚ミヨ氏	優れた語り手のおはなしを聞き、おはなしの世界を楽しむ体験をする。
1月16日 (土)	10:30～ 12:00	絵本とおはなし の豊かな世界	松岡享子氏	優れた語り手のおはなしを子どもたちとともに楽しみ、語り方を学ぶ。
	13:30～ 16:30		加藤節子氏	図書館スタッフとがらがらどんメンバーの語りと、講師による講評。

主催：おはなしがらがらどん 協力：成田市立図書館

* この講座は独立行政法人「子どもゆめ基金」の協力と助成を受けて開催します。

お問い合わせ先 成田市立図書館 児童担当 XXXXXXXXXX (TEL 0476-27-4646)

「絵本とおはなし大好き講座」

第1回

「絵本の読み聞かせ」

日 時 平成21年5月21日(木) 午前10時～12時

会 場 成田市立図書館 2階 視聴覚ホール

☆☆…………☆☆…………☆☆…………☆☆…………☆☆…………☆☆…………☆☆

「本は一生の 友だち」

本は友だち。一生の友だち。
子ども時代に友だちになる本、
そして大人になって友だちになる本。
本の友だちは一生その人と共にある。
こうして生涯 話しあえる本と
出あえた人は、仕あわせである。

石井 桃子

[2007年3月 教文館「ナルニア国」に寄せられた文章]

☆ はじめに ☆

ボランティアの三原則

- ①みんなのためという公共性
- ②自分の意志でという自発性
- ③無償性

最近、生涯学習の大切さを政策として推進していこうという流れに対して
(社会の発展をうながす先駆的役割をもつ) という期待が生まれている。

1. 「読み聞かせ」(reading aloud)とは？

☆ 直訳すれば、声に出して読むこと。「読み聞かせ」というと、どこか強制的なニュアンスが感じられるが、「大人が、子どもに絵本や文学作品を声に出して読んで、本の世界を共に楽しみ、喜びを分かち合うこと」

☆ “最適の人に、最適の本を、最適の時に”

何を読んだらいいのかわからない子どもたち、読書の苦手な子どもたちに、本の中に楽しい世界があることを知ってほしいと願い、その手助けをする。

☆ 「読み聞かせ」をする人は本好きであり、子どもたちの先輩として、子どもたちを本好きに導いてあげる人でありたい。

2. 「読み聞かせ」に適した、絵本の選び方

短い子ども時代だからこそ、現実ではない空想の世界の中で、さまざまな体験をし、喜びを得ることができる本を選びたい。

テキスト：昔ばなし絵本「したきりすずめ」の読み比べ。

(1) 子どもたちのすわっているどの場所からも、絵がよく見えるか？

「ちいさい おうち」(×) 完成度の高い素晴らし絵本で、細かく書き込まれた絵をじっくり楽しみたい。この絵は教室の後ろからではわかりにくいので、おお人数の読み聞かせにはむかない。

少人数のグループになら読み聞かせができる。

(2) 絵と文のバランスがよいか？

「マーシャとくま」(×) 文章量が多く、お話の進み具合と絵の場面が一致していない。

(3) お話に「起承転結」があり、「よかったね」(happy ending) で終わっているか？

「とりかえっこ」(×) 主人公と一体になれない。

まとめ：「読み聞かせ」にむく絵本は、

☆ 絵は物語を語り、お話の雰囲気にあった誠実な絵。遠目がきく絵。

☆ 言葉は正確で、具体的で、実態を伴った、きちんとした日本語の文章。

「読み聞かせ」をする人が絵本を選ぶ際にこころがけていただきたいこと。

☆ 長い間(25年以上)読み継がれてきた本、「ブックリスト」を参考に選ぶ。

☆ 子どもは読んでもらった本はすぐに借りて読みたいもの。そのためには、図書館で借りられる本の中から選ぶ。

☆ テレビ番組の焼き直し、大人の下心が感じられるものは選ばない。

例えば、お説教くさいもの、学習目的、情緒的な本。

[図1]

3. 読み方について

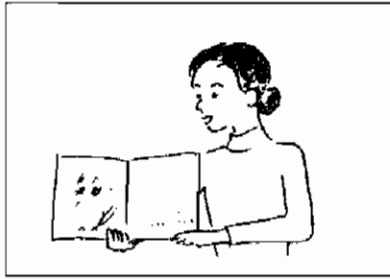
(1) 絵本の世界を子どもたちに、正確に誠実に伝えるために。

☆ まず絵だけを読み全体の流れをつかむ、次に文章を声に出して読む
子どもの耳に届く声、はっきりとした発音、落ち着いた声。

☆ 大げさなセリフまわしや、声色、身振り手振りはいりません。
子どもたちに絵本の世界を伝えること、語り手は黒子です。

☆ “間”の取り方、時間の経過、緊迫した場面、余韻を大切に。

(2) 「読み聞かせ」の時の本の持ち方は下図を参考に。



※カットは「児童図書館サービス論」(理想社)より

- ☆ 開きぐせをつけて、安定した持ち方を。
 - ☆ 手や体で、絵をかくさない。
 - ☆ 左開きの本は、右手で持つ。右開きの本は、左手で持つ。
- (3) 表紙を見せ、題名をはっきり言う。
本文の出だしは、はっきり、少しゆっくり読む。
子どもを絵本の世界へ誘い込むためには、読みはじめが大切です。
- (4) 本を閉じるまで、絵本の世界を保つ。
- (5) 読み終わったら、余韻を大切に。次に、裏表紙を見せ、次に表表紙に返し、
題名をいってから「おしまい」という。
「だいくとおにろく」のような表と裏表紙が一枚の絵になっている絵本は、
両開きにして見せてから「おしまい」という。

4. 練習のしかた

- (1) 声に出して何度でも読む。物語のイメージをつかみ、展開にあうリズムを感じる。
- (2) 鏡の前でチェックする - 持ち方、ページの繰り方、姿勢 -
- (3) ボランティアの仲間の前で読んで、聞いてもらう。

5. 「プログラム」の組み方

- (1) 「絵本の会」-15分~30分- は3冊位で構成する。
創作絵本、昔話絵本、知識(科学)の絵本、言葉遊び、詩の本など異なる分野の本、「わらべうた」なども加えるとよい。バランスよく組み立てる。
- 低学年の場合 例:「だいくとおにろく」「ごきげんならいおん」
「しっぽのはたらき」3冊のほか、予備の本として
「やさいのおなか」「ふしぎなナイフ」など準備しておく。
- 中・高学年の場合 例:絵本のほか、物語を読み聞かせるのもよい。
「子どもに語るグリムの昔話」「子どもに語る日本の昔話」
「子どもに語るアンデルセンのお話」
「愛蔵版おはなしのろうそく」など。

(2) 「朝の読書の時間」 — 10分～15分 —

一日の始まりの大切な時間です。楽しい本、時間内で読める本。

例：「11ぴきのねこ」時間調整用の本を準備しておく。

「ことばあそびうた」「のはらうた」「ねえ どれがいい？」など。

6. 注意すること

- (1) 始まりと終わりをすっきりと。前置きや時候の挨拶はいりません。
- (2) 読み始めたら途中で中断しません。ただし、校内放送がある時は別です。
- (3) 読み終わってから「おもしろかった？」など感想を聞きません。
子どもの顔に結果はあらわれています。
- (4) 何よりも、あなたが「絵本好き」なこと、いつも絵本の世界を楽しんでいることが大切です。そうすれば、あなたの中に「絵本を見る目」が自然と養われていきます。
- (5) 絵本をはじめ、子どもの本でわからないことがあったら、図書館の児童担当職員に相談しましょう。

〈 参考資料 〉

「えほんのせかいこどものせかい」松岡享子著、日本エディタースクール出版部

「絵本を読むこと」(たのしいお話 7) 松岡享子著、東京子ども図書館

※ご紹介しました本は、図書館で借りられます。

[講座担当：久松 友子 (元千葉市中央図書館児童担当職員)]

「まじ・みちお 全詩集」まじ・みちお著

(理論社) より

ドーナッツが ひとつ

ドーナッツが ひとつ
ドーナッツが ふたつ
ふたつの ドーナッツで
めがねが ひとつ
ひとつの めがねを ちよんと かけて
おじいさんになつて
あつちむいて おはよう
こつちむいて おはよう

ドーナッツが ひとつ
ドーナッツが ふたつ
ふたつの ドーナッツで
めがねが ひとつ
ひとつの めがねを ちよんと かけて
おばあさんになつて
あつちむいて こんばんは
こつちむいて こんばんは

あたまは てんてんてん

あたまは てんてんてん
ほつべは ほんほんほん
おくちは ぼつぼつぼで
てとては ほんほんほん

かたは とんとんとん
むねは どんどんどん
おなかは ほんほんほんで
てとては ほんほんほん

ては ふたつ

ててて てはふたつ
てのひらと てのひらで
ほん ほん ほん
だんだん いそいで ぼぼぼぼ ほん
ててて てはふたつ
てのこうと てのこうで
ぺん ぺん ぺん
だんだん いそいで ぺんぺん ぺん

ててて てはふたつ
てのよこと てのよこで
てんてんてん
だんだん いそいで ててて てん
ててて てはふたつ
げんこつと げんこつで
どん どん どん
だんだん いそいで どどどど どん

ててて てはふたつ
ひとつでないよ てはふたつ
なんでも できる

うらうら おもて

うらうら おもて よこです ほん
ほんほんほん ほんほんほん

よこよこ おもて うらです ほん
ほんほんほん ほんほんほん

「読み聞かせ」にむく絵本

書名	画家名、作家名(昔話は再話者名)	出版社名	対象の目安
あおい目のこねこ	エゴン・マチーセン	福音館書店	低～中学年
あおくとときいろちゃん	レオ・レオニ	至光社	幼児～
あひるのピンのぼうけん	クルト・ヴィーゼ、マージョリー・フラック	瑞雲社	低～中学年
アンガスとあひる	マージョリー・フラック	福音館書店	幼児～
アンディとライオン	ジャームズ・ドーハティ	福音館書店	低～中学年
1ねんに365のたんじょう日プレゼントをもらったベンジャミンのおはなし	ロン・パレット、ジュディ・パレット	偕成社	低～中学年
いたずらきかんしゃちゅうちゅう	バージニア・リー・パートン	福音館書店	幼児～
いろいろへんないろのはじまり	アーノルド・ローベル	富山房	低～中学年
ウルスリのすず	アロワ・カリジェ、ゼリーナ・ヘンツ	岩波書店	低～中学年
おおかみと七ひきのこやぎ(グリム童話)	フェリクス・ホフマン、瀬田貞二	福音館書店	幼児～
王さまと九人のきょうだい(中国の民話)	赤羽末吉、君島久子	岩波書店	低～中学年
おおきくなりすぎたくま	リンド・ワード	ほるぶ出版	低～中学年
おさらをあらわなかったおじさん	バーバラ・クーニー、フィリス・クラジラフスキー	岩波書店	低～中学年
おつきよちゃんとかつぱ	降矢なな、長谷川摂子	福音館書店	幼児～
おおきなかぶ(ロシア民話)	佐藤忠良、内田莉沙子	福音館書店	幼児～
おさとぼうしうり	エズフィール・スロボトキーナ	福音館書店	幼児～
おじさんのかさ	佐野洋子	講談社	幼児～
おだんごぼん(ロシア民話)	わきたかず、瀬田貞二	福音館書店	幼児～
おなかのかわ	村山知義、瀬田貞二	福音館書店	幼児～
おまたせクッキー	バット・ハッチンス	偕成社	幼児～
かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房	幼児～
がちょうのペチューニア	ロジャー・デュボアザン	富山房	低～中学年
かもさんおとおり	ロバート・マックロスキー	福音館書店	幼児～
ガンピーさんのふなあそび	ジョン・バーニンガム	ほるぶ出版	幼児～
木	佐藤忠良、木島始	福音館書店	中学年～
きつとみんなよろこぶよ	ピーター・スピア	評論社	低～中学年
木はいいなあ	マーク・シーモント、ジャニス・メイ・ユードリイ	偕成社	低～中学年
きよだいなきよだいな	降矢なな、長谷川摂子	福音館書店	幼児～
くまさんくまさんなにみてるの?	エリック・カール、ビル・マーチン	偕成社	幼児～
くまのコールテンくん	ドン・フリーマン	偕成社	幼児～
くまのビーディーくん	ドン・フリーマン	偕成社	幼児～
ぐりとぐら	大村(山脇)百合子、中川李枝子	福音館書店	幼児～
ごきげんならいおん	ロジャー・デュボアザン、ルイーズ・ファティオ	福音館書店	低～中学年
こすずめのぼうけん	堀内誠一、ルース・エインワース	福音館書店	幼児～
ことりをすきになった山	エリック・カール、クレーラン	偕成社	低～中学年
ごちゃまぜカメレオン	エリック・カール	ほるぶ出版	幼児～
こねこのぴっち	ハンス・フィッシャー	岩波書店	幼児～
こまった鳥の木	スーザン・メド	あすなろ書房	低～中学年
サリーのこけももつみ	ロバート・マックロスキー	岩波書店	幼児～
さるとわに	ポール・ガルトン	ほるぶ出版	幼児～
さんねん峠	朴民宜、李錦玉	岩崎書店	低～中学年
三びきのこぶた(イギリス昔話)	山田三郎、瀬田貞二	福音館書店	幼児～
三びきのやぎのがらがらどん(北欧民話)	マーシャ・ブラウン、瀬田貞二	福音館書店	幼児～
11びきのねこ	馬場のぼる	こぐま社	幼児～
しょうぼうじどうしゃじぶた	山本忠敬、渡辺茂男	福音館書店	幼児～
スイミー	レオ・レオニ	好学社	低～中学年
すてきな三にんぐみ	トミー・ウングラー	偕成社	幼児～
ぞうくんのさんぽ	なかのひろたか	福音館書店	幼児～
そらいろのたね	山脇百合子、中川李枝子	福音館書店	幼児～
ソリちゃんのチュソク	イ・オクベ	セーラー出版	低～中学年
ターちゃんとペリカン	ドン・フリーマン	ほるぶ出版	幼児～
だちょうのくびはなぜながい?(アフリカの昔話)	マーシャ・ブラウン、まつおかきょうこ	富山房	幼児～
だるまちゃんとてんぐちゃん	加古里子	福音館書店	幼児～
ちいさいおうち	バージニア・リー・パートン	岩波書店	幼児～
ちいさなうさこちゃん	ディック・ブルーナ	福音館書店	幼児～

ちいさなねこ	横内 義、石井桃子	福音館書店	幼児～
ちびゴリラのちびちび	ルース・ポーンスタイン	ほるぷ出版	幼児～
月へミルクをとりにいったねこ	たるいしまこ、アルフレッド・スメードベルイ	福音館書店	低～中学年
月夜のみみずく	ジョン・ショーエンヘル、ジェイン・ヨーレン	借成社	低～中学年
ティッチ	パット・ハッチンス	福音館書店	幼児～
てぶくろ(ウクライナ民話)	エウゲーニー・ラチョフ、内田莉紗子	福音館書店	幼児～
てぶくろくろすけ	長 新太、川崎 洋	福音館書店	幼児～
どうながのプレッツェル	H・A・レイ、マーグレット・レイ	福音館書店	幼児～
どろんこハリー	マーガレット・ブロイ・ブレアム、ジーン・ジオン	福音館書店	幼児～
ねこのジンジャー	シャーロット・ウォーク	借成社	幼児～
ねむりひめ(グリム童話)	フェリクス・ホフマン、瀬田貞二	福音館書店	低～中学年
のろまなローラー	山本忠敬、小出正吾	福音館書店	幼児～
菌いしやのチュー先生	ウィリアム・スタイグ	評論社	低～中学年
はちうえはぼくにまかせて	マーガレット・ブロイ・ブレアム、ジーン・ジオン	ペンギン社	低～中学年
パトカーのピーすけ	やぎゆう げんいちろう、さがらあつこ	福音館書店	幼児～
はなをくんくん	マーク・サイモント、ルース・クラウン	福音館書店	幼児～
パパお月さまとって	エリック・カール	借成社	幼児～
はろるとむらさきのくれよん	クロケット・ジョンソン	文化出版局	低～中学年
パンのかけらとちいさなあくま(リトアニア民話)	堀内誠一、内田莉紗子	福音館書店	低～中学年
ピーターのくちぶえ	エズラ・ジャック・キーツ	借成社	低～中学年
ひとまねこざるときいろいろし	H・A・レイ	岩波書店	幼児～
ふしぎなたけのこ	瀬川康男、松野正子	福音館書店	低～中学年
ふしぎなナイフ	福田隆義、中村牧江、林 健三	福音館書店	幼児～
ブレーメンのおんがくたい(グリム童話)	ハンス・フィッシャー、瀬田貞二	福音館書店	低～中学年
ペレのあたらしいふく	エルサ・ベスコフ	福音館書店	低～中学年
ぼくのたからものどこですか	たるいしまこ、角野栄子	福音館書店	幼児～
ほくびょうきじゃないよ	たるいしまこ	福音館書店	幼児～
まあちゃんのながいかみ	たかどのほうこ	福音館書店	幼児～
めっきらもっきら どおんどん	降矢なな、長谷川摂子	福音館書店	幼児～
もこもこ	元永定正、谷川俊太郎	文研出版	幼児～
ものぐさトミー	ペーン・デュボア	岩波書店	低～中学年
もりのなか	マリー・ホール・エッツ	福音館書店	幼児～
ゆきのひ	エズラ・ジャック・キーツ	借成社	幼児～
よかったねネッドくん	ペーン・デュボア	借成社	低～中学年
ラチとらいおん	マレーク・ペロニカ	福音館書店	幼児～
ロバのシルベスターとまほうのこいし	ウィリアム・スタイグ	評論社	低～中学年
わゴムはどのくらいのびるかしら	ジェリー・ジョイナー、マイク・サーラー	ほるぷ出版	幼児～
ワニのライルがやってきた	バーナード・ウェーバー	大日本図書	低～中学年

日本の昔話絵本

かちかちやま (日本の五大昔話)	赤羽末吉、小沢俊夫	福音館書店	
かにむかし (日本の五大昔話)	清水 巖、木下順二	岩波書店	
したきりすずめ (日本の五大昔話)	赤羽末吉、石井桃子	福音館書店	
ももたろう (日本の五大昔話)	赤羽末吉、松居 直	福音館書店	
はなさかじい (日本の五大昔話)	瀬川康男、松谷みよ子	フレーベル館	
いっすんぼうし	秋野不矩、石井桃子	福音館書店	
うまかたやまんば	赤羽末吉、小沢俊夫	福音館書店	
うらしまたろう	秋野不矩、時田史郎	福音館書店	
かさじぞう	赤羽末吉、瀬田貞二	福音館書店	
くわすによぼう	赤羽末吉、稲田悦子	福音館書店	
こぶじいさま	赤羽末吉、松居 直	福音館書店	
だいくとおにろく	赤羽末吉、松居 直	福音館書店	
ちからたろう	たしませいぞう、いまえよしとも	ポプラ社	
つるによぼう	赤羽末吉、矢川澄子	福音館書店	
ふしぎなたいこ	清水 巖、石井桃子	岩波書店	
やまなしもぎ	太田大八、平野 直	福音館書店	
やまんばのにしき	瀬川康男、松谷みよ子	ポプラ社	

知識の絵本

書名	画家名、作家名	出版社名	対象の目安
およぐ	なかのひろたか	福音館書店	幼児～
がぶりもぐもぐ(かがくとなかよし)	ミック・マニング、ブリタ・グランストローム	岩波書店	低～中学年
こいぬがうまれるよ	ジャローム・ウェクスラー、ジョアンナ・コール	福音館書店	幼児～
こうら	金尾恵子、内田 至	福音館書店	低～中学年
ざりがに	吉崎正巳	福音館書店	低～中学年
しずくのぼうけん	ポプダン・ブテンコ、マリア・テルリコフスカ	福音館書店	低～中学年
しっぽのはたらき	藪内正幸、川田 優	福音館書店	幼児～
だいず えだまめ まめもやし	なかじまむつこ、こうやすすむ	福音館書店	低～中学年
たべられるきのみ	高森登志夫、菅原久夫	福音館書店	低～中学年
たんぼぼ	平山和子	福音館書店	低～中学年
月人石	乾千恵書、谷川俊太郎文、川島敏生写真	福音館書店	低～
土のコレクション	葉田宏一	フレーベル館	中学年～
土の中からでてきたよ	小川忠博	平凡社	中学年～
どうぶつのあしがたずかん	加藤由子、ヒサクニヒコ	岩崎書店	中学年～
はははのはなし	加古里子	福音館書店	低～中学年
ピーナッツ なんきんまめ らっかせい	なかじまむつこ、こうやすすむ	福音館書店	低～中学年
ほね	堀内誠一	福音館書店	低～中学年
みず	英 伸三、長谷川摂子	福音館書店	幼児～
みずたまレンズ	今森光彦	福音館書店	幼児～
やさいのおなか	きうち かつ	福音館書店	幼児～
やぶかのはなし	長 新太、栗原 毅	福音館書店	低～中学年
わたし	長 新太、谷川俊太郎	福音館書店	低～中学年

ことばあそびの本、詩の本

書名	作家名、画家名	出版社名	対象の目安
かぞえうたのほん	岸田裕子、ススキコージ	福音館書店	
ことばあそびうた	谷川俊太郎、瀬川康男	福音館書店	
ことばあそびうた また	谷川俊太郎、瀬川康男	福音館書店	
ことばのこぼこ	和田 誠	瑞雲社	
世界のあいさつ	長 新太	福音館書店	
それほんどう？	松岡享子、長 新太	福音館書店	
そんなときなんていう？	モーリス・センダック、セシル・ジョスリン	岩波書店	
どうぶつしりとりえほん	藪内正幸	岩崎書店	
どうぶつはやくちあいうえお	岸田裕子、片山 健	のら書店	
なぜなぜえほん 1～3	中川李枝子、山脇百合子	福音館書店	
ねえどれがいい？	ジョン・バーニンガム	評論社	
のはらうた 1～6	工藤直子	童話屋	
ぶた たぬき きつね ねこ	馬場のぼる	こぐま社	

クリスマスの絵本

おおきいつリー ちいさいツリー	ロバート・バリー作	大日本図書	幼児～
おもいでのでのクリスマスツリー	バーバラ・クーニー絵、グロリア・ヒューストン文	ほるぶ出版	低学年～
神の道化師	トミー・デ・パオラ作	ほるぶ出版	中学年～
ぎんいろのクリスマスツリー	パット・ハッチンス	偕成社	幼児～
クリスマスおめでとう	ひぐちみちこ作	こぐま社	幼児～
クリスマスってなあに	ディック・ブルーナ作	講談社	幼児～
クリスマスまであと九日	マリー・ホール・エッツ と ラバステイダ作	富山房	低学年～
ぐりとぐらのおきやくさま	山脇百合子絵、中川李枝子文	福音館書店	幼児～
くろうまブランキー	伊東三郎作	福音館書店	低学年～
くんちゃんとおゆのパーティー	ドロシー・マリノ作	ペンギン社	幼児～
サンタさんからきたてがみ	たるいしまこ絵、たんのゆきこ作	福音館書店	幼児～
サンタのおなじない	菊地 清	富山房	幼児～
ちいさなもみのき	バーバラ・クーニー絵、マーガレット・W・ブラウン文	福音館書店	低学年～
ちいさなるぼ	酒井信義絵、ルース・エインズワース作	福音館書店	低学年～

[久松 友子 作成]

第1回記録

実施日時 平成21年5月21日(木) 午前10時～12時
活動場所 成田市立図書館 視聴覚ホール
指導者名 久松友子氏
外部指導者 1名 団体構成員 4名
参加人数 45名

活動内容

講座 「絵本の読み聞かせ」

- ・配布したレジュメの説明後、参加者の読み聞かせ経験の確認。全員が経験3年未満だったので、それに合わせて初心者向けの講座内容にすることになった。
- ・石井桃子先生の書かれた「本は一生の友だち」(レジュメ参照)という文章を紹介し、なんでもいいから読むのではなく、子どもの核となる本、親に読んでもらい、自分でも読み、やがて大人になったら自分の子どもに読んであげられるような、長く読み継がれている本を選ぶようアドバイス。
- ・読み聞かせ (reading aloud) とは、声に出して本を読み、子どもと一緒に本の世界を楽しみ、喜びを分かち合うこと。「最適の人に、最適の本を、最適の時に」という気持ちで、子どもがよい本と出会う手助けをしたい。

《 絵本の選び方 》

実際に読み聞かせて説明。絵と文が一致しているか気をつけて聞くよう事前に注意。

- ①「したきりすずめ」(石井桃子再話) 全文の読み聞かせの後、長谷川摂子、松谷みよ子の「したきりすずめ」の一部を読み、文章の違いを指摘。不要な説明が多いと子どもはそこでひっかかる。よく読み比べて、どの本を読み聞かせに使うか決めるようにするとよい。
 - ②「ちいさいおうち」… いい本だが、細かく書き込まれていて絵の中の子どもの姿が見えないので、学校の読み聞かせには向かない。少人数の読み聞かせに。
 - ③「マーシャとくま」… 画面に描かれていないものが文中にたくさん出てくるし、1枚の絵についている文章が長すぎる。読み聞かせよりストーリーテリング向き。
 - ④「とりかえっこ」… 絵はいいが、起承転結もなにもない本なので使わない。
- ・本選びが一番大切。おはなしの雰囲気合った誠実な絵の本。言葉は正確で具体的なきちんとした日本語であること。情緒的な本は避ける。25年以上読み継がれている本、ブックリストを参考にする。図書館で借りられる本を選ぶことも大切。

《 絵本の読み方 》

- ①事前によく練習し、読み聞かせの場でつかえたり間違ったりしない。
- ②よく開きぐせをつけ、親指でしっかり絵本を支えて全員に絵が見えるようにする。
- ③体の側面を聞き手に向け、ひじを軽く曲げて絵本を持つ。
- ④「したきりすずめ」のような横長の本は、手が疲れるし活字が目から遠くて読みづらいので、初心者には向かない。「かちかちやま」の方が読みやすい。
- ⑤外に向かってページを繰るのが原則だが、どうしても無理なら逆でもかまわない。
- ⑥内容をイメージしながら読めば、自然に少し声の出し方が変わる（おじいさんの声とおばあさんの声など）ので、大きな読み方をしないこと。
- ⑦読み始めが大切。本文の出だしは、ゆっくり、はっきりと読む。絵本を閉じるまで絵本の世界を保つ。裏表紙、表表紙を見せて現実の世界に戻る。

《 読み聞かせの実演と講評 》

ふたりとも本の持ち方や声の出し方がよく、読み方も上手だったと前置きしてから、

* 「はじめてのおつかい」について

主人公が不安や心細さでいっぱいになるこの本は、あまり読み聞かせにふさわしいとは思えない。「ぶたぶたぶくんのおかいもの」(久松先生が読んでくださって、聞き比べ)の方が楽しめる。1対1での読み聞かせならいいが、一期一会のボランティアは、楽しいおはなしを選ぶほうがいい。

* 「まゆとりゅう」について

出だしの文章と絵が一致していないし、不要なことばが入っている。2、3人の子どもに読むのはいいが大勢の子どもへの読み聞かせには向かない。

《 科学絵本や詩の本の使い方 》

- ・おはなし会の時間調整にとっても役に立つし、おもしろい。季節に合わせて梅雨時なら「みずたまレンズ」など、興味のあるところを数ページ見せる。
- ・「月人石」(谷川俊太郎の詩と乾千恵の書の写真絵本)も書と詩と写真がバランスよく魅力ある本なので、時間に合わせて数編読むとよい。
- ・「視覚ミステリー」、「土の中からでてきたよ」も高学年や中学生に喜ばれる。

《 手遊び 》

まどみちおの「ては ふたつ」(小学校向き)と「あたまは てんてんてん」(幼稚園向き)を全員で。手遊びはニコニコ楽しい顔でやること。2回繰り返すとよい。

《 質疑応答 》

平成21年度『子どもゆめ基金』助成事業

絵本とおはなし大好き講座 第2回

～石井桃子さんの世界～

～おはなしを聴いて～

09 6月4日(不)
成田市立図書館

1. うさぎちゃんのたんじょうび (絵本) '82
ライフ・ブリーク 絵 福館書店
石井桃子 訳
 2. ふしぎなたいこ 岩波書店 '83
清水 茂 絵
石井桃子 訳
 3. くいしんぼうのはなごさん 福館書店 '85
中谷千代子 絵
石井桃子 作
 4. 元気な仕事や 福館書店 '89
「代り」と「アロウ」の昔話
石井桃子 訳
- ... —
5. ホダイジュがかなるとき 岩波書店
「小はなまようたい」
リン・クレム 作
大塚勇三 訳

～くにたちお話し会 平成21年～

主催 おはなしがらがらどん

第2回記録

実施日時 平成21年6月4日(木) 午前10時15分～12時

活動場所 成田市立図書館 視聴覚ホール

指導者名 平塚ミヨ氏

外部指導者 1名 団体構成員 4名

参加人数 75名

活動内容

講座 「石井桃子さんの世界」

プログラムに入る前、石井桃子さんの著書「子どもの図書館」、「かつら文庫の50年」等に触れながら、語り手としての人生に於て、石井桃子さんが、どれ程大きな存在であったかを、深い感謝の思いを込めて語られる。

<メルヘンクーゲルの音で、おはなしの世界へ>

1. 「うさこちゃんのたんじょうび」(絵本)

この絵本は「おかあさんだいすき」(マージョリー・フラック文・絵、光吉夏弥訳、岩波書店)とセットで読むことにしている。母の日にはとても良いおはなし。

※おはなしの合間のおはなし(1)

・1つのおはなしをするだけでなく、その周辺の本やおはなしを紹介してやるのが私達大人の大きな役割。

2. 「ふしぎなたいこ」

子どもが、何度聞いても喜んだおはなし。

このおはなしの中で言い方を変えた方が良い箇所

①「でんしんぼしらくらいのながさ」→「ものほしざおくらいのがさ」

②「そこで、こんどはよこにねて」→「そこで、こんどはあおむけにねて」

※おはなしの合間のおはなし(2)

・語り手自身がよくイメージを描けていないおはなしは、聞き手は楽しめない。言い難い言い回しがあったら、仲間と話し合った上で、別の表現に変えることも大切。あくまで、子どもがイメージし易いかどうかを基準にする。

3. 「くいしんぼうのはなこさん」

中谷千代子が絵をつけた素晴らしい絵本。ある時、おはなしとしてやってみたら、子ども達が大変喜んだ。それ以来、この時期になると、必ずと言っていい程やっている。1年生位の子どもには「読み語り」をやる。

※おはなしの合間のおはなし(3)

・絵本は総合芸術。絵とおはなしが互いに補い合ったもの。絵と物語は、どちらが主で、どちらが副とは絶対言えない。

・石井桃子訳「イギリスとアイルランドの昔話」が出版されて以来、その中の殆どを覚えて使っている。どれも「間違いない」と実感。中でも「ミアッカどん」は、特におすすめのおはなし。石井作品にはムダがない。グリムの昔話に匹敵する強さを持っている。この中の「元気な仕立て屋」は、夏場になるとよく語る。

4. 「元気な仕立て屋」

この中の登場人物「マクドナルド殿様」は、子供達がハンバーガー店の「マクドナルド」を思い描くのを防ぐため、英語式に「マクドナルド」と「ド」を強く発音している。

{ ちよつと気分転換：小さな小さなおすもうさんになりましょう
“ちびすけどっこい はだかでこい フンドシかついではだかでこい” }

5. 「ボダイジュがかなでるとき」

<メルヘンクーゲルの音で終了>

絵本とおはなし大好き講座 第3回
松岡享子さん・加藤節子さんをお迎えして
第1部：子どものためのおはなし会 プログラム

金色とさかのおんどり

おはなしのろうそく3 東京子ども図書館

かさじぞう

瀬田貞二／再話 赤羽末吉／画 福音館書店

ねずみのすもう

おはなしのろうそく18 東京子ども図書館

番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー／さく 松岡享子／やく 福音館書店

主催：おはなしがらがらどん 於：成田市立図書館 2010.1.16

*この講座は「子どもゆめ基金」の協力と助成を受けて開催します。

第3回記録

実施日時 平成22年1月16日(土)

第1部：午前10時30分～12時

第2部：午後1時30分～4時30分

活動場所 成田市立図書館 2階集会室

指導者名 松岡享子氏 加藤節子氏

外部指導者 2名 団体構成員 4名

参加人数 第1部：幼児12名 小学生25名(計37名) 大人20名

第2部：大人のみ 56名

活動内容

第1部：松岡享子氏、加藤節子氏による子どものおはなし会

- ・ロシアの昔話「金色とさかのおんどり」

「寒い時期には、寒い国のおはなしをしたくなります。」と話され、松岡享子氏が語られました。

- ・日本の昔話「かさじぞう」

「お正月の話ですが」と話され、加藤節子氏が語られました。

- ・日本の昔話「ねずみのすもう」

「続けて日本の昔話です。」と話され、加藤節子氏が語られました。

- ・「番ねずみのヤカちゃん」

「アメリカの絵本です。」と話され、松岡享子氏が語られました。

語り終えたあと「今、ねずみのいる家はないけど、もしいたら、それは番ねずみのヤカちゃんかもしれませんね。」と話して終わられました。

最後に、松岡享子氏より「番ねずみのヤカちゃん」を語られる前に「話が長いので聞けない子は退場してもいいですよ。」と問いかけがありましたが、退場する子はひとりもおらず、笑い声のあふれる中、最後まで聞いていました。

※本の紹介 XXXXXXXXXX (成田市立図書館)

第2部：おはなしと講評

1.松岡享子氏ご挨拶

子どもになったつもりでおはなしを楽しみましょう。

2.おはなし プログラム参照

3.講評 松岡享子氏

- ・「みそ買い橋」 [REDACTED] (おはなしがらがらどん)
 - ・日本の昔話は、一般のものより2割程度スピードをおとして語った方が良い。
 - ・言葉と言葉の間が少し切れ間が多いので、音の波が寄せては返す…というリズムで、言葉を切らずつなげて語った方が良い。
 - ・昔話は、何となく懐の中に暖かく人を包みこんでいる。
 - ・語り手が音の要素を意識すると、聞き手に大きな懐を感じさせるものになると思う。

- ・「ちいさなたいこ」 [REDACTED] (おはなしがらがらどん)
 - ・語りと語り手がピッタリ重なっており、語り手の人柄が良く出ていた。
 - ・自分の本を、このように語ってもらい、とても楽しませてもらった。

- ・「チム・ラビットとはさみ」 [REDACTED] (成田市立図書館)
 - ・語り手の家庭でのやりとりが、そのまま感じられた。
 - ・まわりの風景も良く表現されており、話の流れも良く出ていて、ピッタリの語りであった。

- ・「石炭娘」 [REDACTED] (おはなしがらがらどん)
 - ・全体の出来事をエピソードごとに1つのかたまりとして捉え、そのかたまりごとに少し間をとると良い。
 - ・話の流れにも波のごとくうねりがあることを感じると良い。
 - ・生々しい場面は、あまりリアルに表現せず、サラッと流す。

- ・「くぎスープ」 [REDACTED] (成田市立図書館)
 - ・本人のイメージどおりでとても楽しかった。
 - ・このようなナンセンスな話は、語り手が本当に楽しめる気持ちがなければ表現することが難しい。
 - ・会話調なので、間のとり方が大切である。

- ・「ついでにペロリ」 ██████████ (成田市立図書館)
 - ・ネコのキャラクターの描き方がとても良かった。
 - ・全体のリズムと、積み重ねの話で、エスカレートしていく流れを最後に切り換える語り方が絶妙だった。
 - ・「くぎスープ」同様、おかしい話、ナンセンスな話は語り手を選ぶ。

- ・「赤鬼エティン」 ██████████ (成田市公津小学校)
 - ・スケールの大きな話を、ていねいに語っていた。
 - ・異国の雰囲気を楽しめれば良い。

- ・「ツェねずみ」 ██████████ (おはなしがらがらどん)
 - ・人のありようの描写がリアルに表現されていた。

4.全体評価 松岡享子氏

語った全員が自分に合った話を選んでおり、良く練習を重ねて、練りこまれて自分のものとしているので、とても楽しく聞かせてもらった。
これからも、子ども達の場で、たくさん語ってほしい。

5.東京子ども図書館の紹介 加藤節子氏より

6.質疑応答 加藤節子氏